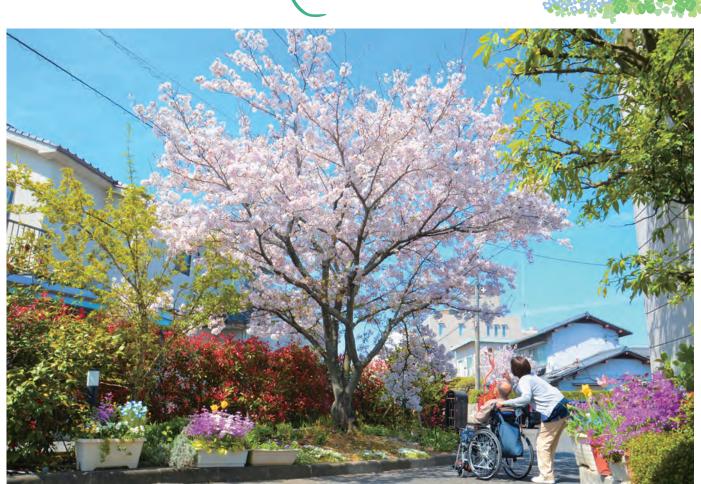


2021年4月30日発行







デイサービスむべやまの桜です。写真奥の白い建物が病院です。

理 念

地域に望まれる理想の医療を目指して

基本方針

- 1.私たちは患者さんの立場にたち、安心で満足できる医療を提供します。
- 1.私たちは患者さんに心から信頼される医療人を育成します。
- 1.私たちは地域に密着した病院としての機能向上を図ります。

小粒でも大きな支え、続く安心







病気のコラム

7

医療法人(社)玄同会 理事長 小島敬太郎



脳神経内科医から



当院の内科では私は主として脳神経内科領域を 担当しています。 脳神経内科は脳や脊髄、末梢神 経、筋肉の病気をみる内科です。体を動かしたり、 感じたりする事や、考えたり覚えたりすることが 上手にできなくなった時にこのような病気を疑い ます。症状としてはシビレやメマイ、手足にうまる、 ひきつけ、むせる、しゃべりにくい、ものが二重と みえる、頭痛、自分の意志と関係なく勝手に手足や 体が動いてしまう、物忘れ、意識障害などたくす あります。通常われわれ脳神経内科医は、まず全身 を診て(これが鉄則!)どこの病気であるかを見極 めるのです。

では具体的に当院の神経内科ではどのような病気を扱うのでしょうか・・・

- ありふれたものとしては・・・
- 1) 脳梗塞、脳出血などの脳血管障害(脳卒中) 当院ではその回復期・慢性期医療(リハビリテ ーションや再発予防)
- 2) 頭痛・めまいなど機能性の病気
 - ⇒死ぬような病気ではなく、正しく診断・治療できればQOLでは格段に改善します。
 - *片頭痛など一次性頭痛が多い!
 - *良性発作性頭位めまい
 - **⇒**めまいすなわちメニエルではありません。
- 3) 末梢神経や筋肉の病気 自覚的には手足に力が入らないとか「しびれる」など・・・
- 4) アルツハイマー病をはじめとする認知症を きたすさまざまな病気
- 5) いわゆる『神経難病』と言われるもので主なもの
 - ① パーキンソン病(神経難病の中では最も多い)および関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症)

いずれも動作が鈍い、歩き難い、転び易い、 手が震える、姿勢が悪い、便秘や排尿障害 など自律神経障害などが認められます。

② 脊髄小脳変性症 手足の震えや不随意運動、歩行時のふらつき、呂 律が回らない等の症状があります。病型も多く、 遺伝性のものと非遺伝性のものがあります。

- ③ 多系統萎縮症
 - パーキンソン症状と小脳症状が前後して現れ、自律神経障害を伴います。パーキンソン病と鑑別が難しいこともありますが抗パーキンソン薬の効果が少なく進行が速い傾向があります。
- ④ 筋萎縮性側索硬化症(ALS): 新聞などで話題になることが多い神経難病です。初期には手や足の先に力が入らない、喋りにくい、飲み込みにくいなど。最終的には寝たきりとなり呼吸も困難となります。排尿・排便など自律神経障害や知覚障害はありません。在宅療養が長期にわたる場合は定期的にレスパイト入院を組み込むことがあります。

※当院は広島県の難病協力病院となっており、 診断・治療・リハビリなど、総合的な医療と長期 的生活支援を行っています!

ところで、この数年のデータから、自宅や介護施設から当院内科に直接入院となった患者さんの内訳は誤嚥性肺炎が最も多く、その人たちの基礎疾患は脳血管障害や認知症と並んで神経難病の方がトップ3です。なかには入院して来られて初めてパーキンソン病などの神経難病が見つかることが少なくありません。このことは高齢の方が少しずつ動きが悪くなったような場合、単に年のせいやフレイルでよるものと決めつけないで、早く脳神経内科医を受診されることをお奨めします。

- ※QOL……クオリティ・オブ・ライフ(quality of life)の略でひとりひとりの生活の質のことを指します。
- ※不随意運動……意志とは無関係に現れる異常運動
- ※知覚障害……光や音、温度などの外部からの刺激や、痛みなど体内に受ける刺激などを適切に感知できない状態
- **※レスパイト入院**……家族の休息や冠婚葬祭などによって介護ができないときに、病院が患者さんの短期入院を受け入れる制度
- ※フレイル……加齢に伴い身体の予備能力が低下し、健康障害を起こしやすくなった状態

新任医師のご紹介

内科•脳神経内科 常勤医師



いしかわ けんいち **石川 賢一 医師**

趣味: 映画鑑賞 好きな食物: ビーフシチュー 苦手なもの: 山芋 好きな言葉: 平常心

4月から脳神経内科の常勤医として着任いたしました。専門領域に留まらず幅広く総合診療ができる医師を目指しています。地域医療に貢献できるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

泌尿器科 每週金曜日

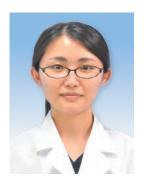


ふるたに とも き **古谷 知己医師**

趣味: 自転車 好きな食物: ポテトサラダ 苦手なもの: 辛いもの 好きな言葉: 感謝

広島大学病院 泌尿器科の古谷知己と申します。 患者さまの健康と生活をより良いものにするため、 尽力いたしますのでよろしくお願いいたします。

内科•消化器内科 每週火曜日



みゃもと さゃか **宮本 明香 医師**

趣味:編み物 好きな食物:チーズ 苦手なもの:なす 好きな言葉:一生懸命

本年度お世話になります。至らない点もあろうかと 思いますが、ひとつひとつ丁寧に、日々の診療に当 たりたいと思います。ご迷惑をお掛けすることもあ ろうかと思いますが、よろしくお願いいたします。

内科·消化器内科 每週木·金曜日

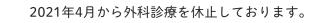


みやもと りょう **宮本 亮 医師**

趣味:ドライブ 好きな食物:さば 苦手なもの:パクチー 好きな言葉:一期一会

広島大学消化器内科の宮本と申します。 地元が福山であり、親近感を持っております。 何卒よろしくお願いします。

外科休止のお知らせ



症状等によっては他の医療機関をご案内させていただくこともあります。 大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



糖尿病内科

第12回小畠病院

オープンカンファレンスを開催しました。

日時

2021年3月12日金 19:00~20:20

座長

小晶病院 糖尿病内科 土井 綾乃 医師

場所

小畠病院北館講堂+WEB配信

特別講演



2型糖尿病の病態と 治療に関するトピックス

講師

川崎医科大学 糖尿病代謝内分泌内科 教授

金藤秀明先生

演題

当院での糖尿病チーム医療 の取り組み

講師 糖尿病チーム



2021年3月12日に第12回小畠病院オープンカンファレンスを開催しました。WEB視聴での取り組みは初めてでしたが無事に終えることができ、来場者およびWEB視聴者合わせ約100人の方に聴講していただけました。

当院は2020年5月に糖尿病内科 土井綾乃医師(非常勤:月・水)の着任を機に糖尿病チームを発足しました。そのチーム活動について看護師より発表しました。

特別講演は川崎医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科 金藤秀明教授よりご講演を賜りました。現在、川崎医科大学附属病院からは2名の糖尿病内科医(非常勤:火・金)が診療にあたっており、土井医師とあわせ週4日の糖尿病外来を設けています。



カンファレンスで糖尿病チームを紹介したスライドです

糖尿病内科よりお知らせ



持続血糖測定器を導入しました。

糖尿病外来では、3月から持続血糖測定器を 導入しました。

持続血糖測定器とは、血糖測定を継続的に行うことができる医療機器です。皮膚にセンサーを取り付け、本体を近づけてデータを読み取れば、いつでも簡単に血糖測定が可能です。

当院では『FreeStyleリブレ』を採用しています。 特徴は、指先を刺さないので痛みを伴わない ほか、測定データをグラフ表示し、血糖値の流 れを確認することができます。

使ってみたい方や、どんな物か詳しく知りたい方は、糖尿病外来へお問い合わせください。







『e-ラーニング』で 勉強しています。

看護部長 佐野 京子

昨年度から「学研 e - ラーニング」を導入し、 教育体制に組み入れました。

当院の教育体制は教育委員会を中心に構築されています。院内研修は、医療法や診療報酬上定められている研修、機能評価に必要な研修、その他医療や看護の質向上のための研修などを企画しています。当院は教育担当者として専従人員が配置されてはいないため、講師となる負担は少なからずあります。また様々な講師よる外部研修は、福山開催が少なく遠方が多いのが実情でした。そのため家庭の都合により外部研修に積極的に参加できない職員もいました。

そこで今回、e-ラーニングを導入したことで、外部の著名な講師 陣による研修を全員が受けることができるようになりました。自分 の空いている時間にいつでも何度でも受講でき、個人学習が効果的 となっています。また管理者はスタッフの学習状況も把握でき、評価にも活用できています。

昨年度は新型コロナウィルス感染症の影響で、外部研修が軒並み中止となり、この e-ラーニングがとても有効でした。今後も職員が自己研鑽に努めるためのツールとなるよう期待します。



| 各種健診のご案内



当院は、個人健診をはじめ、日帰りや宿泊の人間ドック、特定健康診査(特定健診)などを受けることができます。

コロナ禍において、健診を受けることを控えている方もいらっしゃるかもしれません。当院ではみなさまに安心して受診していただけるよう、院内感染対策チーム(ICT)を中心に、新型コロナウイルスへの対策を常に話し合い感染防止対策を行っています。来院者には玄関での手指消毒や検温をお願いし、発熱の有無などを確認するトリアージを行っています。また、入院患者様への面会は禁止としクラスター発生防止にも努めています。

当院人間ドックは、全日本病院協会より人間ドック実施施設に認定されており、日本人間ドック学会が推奨する基本検査項目を網羅しており、それに加えオプション検査も充実しています。また、当院には脳神経内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、呼吸器内科、泌尿器科、眼科の診療科があり、健診後の精密検査に対応出来るよう診療体制を整えています。

健診で異常を指摘された場合は、ご予約をお取りすることもできますので、ご連絡ください。

新型コロナウイルスの感染を恐れて病院受診を控え健診を受けないことで、がんや心疾患、脳血管疾患など命にかかわる病気の発見が遅れてしまうかもしれません。ご自身の健康を守るためにぜひ健診をご活用ください。

毎年、特定健康診査、がん検診の申込みが年度末に 近づくと問い合わせが殺到し、予約がお取りできな い状況にあります。特定健康診査、がん検診の案内が 届いたら早めのお申し込みをお勧めいたします。

コロナ禍だからこそ重症化のリスクに備えるため、またご自身の健康を守るため、健康診断を受けていただき、疾病予防に努めていただくようお願いいたします。これからもみなさまの健康管理に職員一同邁進してまいります。

当院で受けることができる健診

特定健康診査

人間ドック

がん検診



個人健診(各種コースがあります)

日帰り人間ドック

宿泊人間ドック

福山市国民健康保険ドック

(特定健康診査や後期高齢者健診)

市がん検診(大腸、肺、胃など)*

肝炎ウイルス検診

結核健康診断·管理検診

被爆者·被爆者2世健康診断

企業健診など

*お住いの市町村によって内容が違います。詳しくはスタッフまでお尋ねください。